読んだ本　（東京理科大学栄誉教授　藤嶋　昭　監修　ナツメ社）

「知的世界が広がる世の中のふしぎ４００」

川崎市立柿生小学校６年　橋本（はしもと）　暖乃香（ののか）

私がおすすめする本は「知的世界が広がる世の中のふしぎ４００」です。この本には四百話あり、そのうちの三話を紹介しながら、おすすめの理由を説明します。

一つ目は、働きアリのうち二割は仕事をサボるアリということです。私のアリのイメージは働き者でした。なぜなら公園などでアリが食べ物をせっせと運んでいたからです。なので働かないアリがいるのはおどろきでした。働いたり働かなかったりと私たちに似ているところもあると思いました。

二つ目は、勉強の後に仮眠をとると成績が上がるということです。その理由は、寝ている間に記憶が整理され長期的に保存されるからです。このことを知ったので実際に勉強の後に寝て記憶力を良くしたいです。そして、このことは勉強だけでなくスポーツなどでも言えることで体の動かし方も寝ている間に記憶されやすいと思われています。みなさんも試してはどうですか。

三つ目は、将来エレベーターで宇宙に行けるかもしれないということです。私たちが普段使っているエレベーターのケーブルの強度では宇宙エレベーターの実現は無理だと思われていました。しかし鋼の二十倍もの強度をもつカーボンナノチューブという物が日本人により発見されたため宇宙エレベーターへの実現が近づきました。世界にほこれる発見を日本人がしたことをうれしく思いました。

私はこの本を読んで仕事をサボるアリについても知りたいと思ったのでインターネットで調べてみました。働かないアリが存在し始めるとそこから働くアリだけを集めるとそこから二割が仕事をサボるアリになるということが分かりました。

このように、いままで知らなかった新しい知識を増やせる本です。そして、もっと知りたいという気持ちにさせてくれます。だから私はこの本をおすすめします。